



2019年6月

発行 理事会

生活クラブ生活協同組合

〒524-0044

滋賀県守山市古高町 110 番地 8

TEL 077-514-2028

組合員数...2,403名



♪ 2019 連続生産者交流会 ♪ 第1弾 黒富士農場さん

生産者に出会い、消費材について知り、理解し、好きになる。そんな生産者交流会の第1弾が、5月20日（月）草津まちづくりセンターで開催。たまごの生産者“黒富士農場”の向山さんが来てくれました。初めにスクリーンに映し出されたのが、黒富士農場の風景です。場所は、山梨県甲斐市上芦沢です。「富士山が見えなかったため、豊かな自然がそのまま残っているところ」とおっしゃいました。きれいな湧水や木々など、景色の写真に思わずため息がでるほどでした。

お話しを聞いた後に、竜おうみ米を炊いて、平飼いの卵で、たまごかけご飯を食べました。採卵日がわかり、遺伝子組み換えでないとうもろこしや大豆かすを食べた鶏が産んだたまご、安心して生でたべられるって、幸せなことですね。



- 感想
- ・「『鶏がしあわせかどうか。』を考えていらっしやると知って、こういう生産者の食べものを食べていきたいと思った。
 - ・「『NONGMのエサを食べた鶏が、インフルエンザでも死ななかった』というアメリカでの話、興味深かったです。」
 - ・「市販品の怖さを同時に感じました。」

♪2019 連続ライフプラン講座♪

第1弾 家族を守る保障

2019年度は、わたしたちの暮らしに役立つ学習会の開催を決めました。講師は資格を持っている関東や大阪の生活クラブの組合員です。第1弾は4月15日(月)草津まちづくりセンターにて、～生命保険について～でした。どここの保険の良い悪いではなく、考え方をしっかり学ぶ講座でした。家族構成や子どもの年齢によって必要な金額は変わってきます。節目節目での見直しや、年金の制度についても知っていくことが必要です。実はとても大きな金額を支払っている生命保険。めんどくさがらず、人任せにせず、しっかり考えてきたいと思いました。千葉から来てくれた講師の藤井さんの話し方がとても素敵で、とてもわかりやすかったです。

感想 ・「販売系でないFPのお話を聞くのは初めてでしたが、やはり中立の立場でとてもタメになるお話をしていただけ良かったです。」

・「まずこの講座を受けるに当たり、家の保険証書(古いものも残っている)の整理をやっとできたことから始まり、改めて自分で入っている保険の内容まで整理しようと思いました。」

・「難しいと敬遠していた保険の見直しでしたが、わかりやすい説明で考えるきっかけになりました。」

・「藤井さんがとても信頼できる方なのがとても良いです。個人相談をぜひ受けたい。」

・「今後の講座もたのしみです！」

第2弾 病気になったときの保障

5月9日(木)同じく草津まちづくりセンターにて、第2弾の講座、～医療費に備える～でした。今回の講師は大阪の組合員の溝江さん。講座では標準語、雑談の時はバリバリの大阪弁と、とても身近に感じる講師でした。今回もやっぱり考え方。公的な保障と組織保障を知ったうえで、足りないと思う分の保障をつける私的保障。国や自治体が行う医療給付について、まず知って大事です。入っている健康保険によって給付が違いますから、これも各家庭に必要な保障は変わります。また、ママの入院やママが付き添いなどがあると医療費以外の出費が意外とかかると言われています。自分に合った保障について考えていきましょう。

感想 ・「国民皆保険を受けるために支払う分が高いなあという印象でしたが、有難い制度だとわかりました。勉強になりました。」

・「忘れていいところ、押さえておくべきポイントを伝えていただき、気がラクな部分もありました(笑)」

・「しくみが良く理解できました。備えはしっかりして、医療機関にお世話にならない身体づくりをしていこうと思います。」



午後からは場所を守山センターへ移して、個人相談(有料1000円/50分)も行われました。

毎回好評なライフプラン講座、まだまだ続きますよ～♪

❀総代説明会が行われました❀

5月8日(水)湖南、22日(水)大津と湖東、と総代説明会が行われました。ここで総代の質問、意見を聞いて、総代会議案書を完成させていきます。組合員歴は長いけど、参加したのは初めて!との声もあり、お知らせの方法など検討し、みんなで共有できる活動にしていく必要を感じました。

☆沖縄訪問報告☆

協同組合の旅 連合理事研修 沖縄

秋久保

3泊4日滞在しました。事前に日米地位協定や翁長元知事の本3冊、約6時間映像資料が届きました。今まで触れずにいた沖縄でしたが、鉄の暴風と呼ばれる地上戦があった地に降り立ち、延々と続く基地のフェンス、反対の民意が示されたにも関わらず工事の進む辺野古、普天間基地内にあった先祖の土地を取り戻し、丸木位里 俊夫妻の描いた『沖縄戦の図』がある佐喜真美術館、辺野古新基地反対の座り込みテント、ダンプによって土砂が次々運び込まれ、県警と10人近くの警備員がいるゲート前では、建設反対のシュプレヒコールをあげてきました！！

オキナワの問題は、日本に暮らす私たち全員の課題であることに気がつきました。無関心でいることがいちばんの問題であると。日々の暮らしの中でもあれこれ課題は多いですが、それは平和な社会であってこそです。このまま埋め立てがすすみ、日本で初めて国が承認した新基地ができれば、戦争が始まってしまう。このまま無関心でいたら知らないうちに戦争への道は開かれていく。そう実感できました。

活動のテーマがまたひとつ増えました。見てきたこと感じたことを身近な人から伝えて行きたいと思えます。

興味のあることから、まず一歩行動に移してみませんか？

素精糖、真塩の生産者『青い海』の工場見学、沖縄フェアで取扱っている『沖縄物産』での学習会、平和記念資料館、ひめゆりの塔、コープ沖縄、公設市場、サンゴの養殖施設「サンゴ畑」、首里城、対馬丸記念館と、連日、涙を流しながらの濃い滞在でした。

4日間、上空から聞こえてくるのは旅客機の音。嘉手納飛行場の滑走路もがらりと静まり返っていました。

Q. さざなみへ質問が届きました♪

滋賀の“かたぎ農園”の茶葉は購入できないのでしょうか？ 無農薬をうたっていますが、生協（コープ）が独占しているのでしょうか？ それとも安全ではないのでしょうか？

A. 私たちは、(株)新生わたらい茶の茶葉を扱っています。生産者は情報を公開し、全国の生活クラブの組合員の年間の注文量も考えて価格も決めています。今は、消費材のわたらい茶の利用をすすめています。滋賀の組合員人数にもよりますが、将来的には、滋賀の生産者を作れるようになるといいですネ。また、“かたぎ農園”さんの栽培方法については、生活クラブの生産者ではないためわかりません。直接確かめてくださいね。

生活クラブのホームページより、わたらい茶について記載します。

毎日飲むものだからこそ安心なものを

一般的にお茶の製造は、茶葉の生産から荒茶(半製品)までを茶葉生産者が行い、荒茶を卸や小売りが製品に仕上げます。製品に仕上げる段階では、産地、品質の異なったものをブレンドすることが多く、誰が・どのように作ったのが消費者にはわかりにくい状態に。しかし、(株)新生わたらい茶では、茶葉の生産から製品の仕上げまでを一括管理。栽培方法から明らかな有機栽培のお茶です。





6月 スケジュール案内



日	月	火	水	木	金	土
						1 パパ企画『つり』 (NO-NUKES)
2	3	4 リフレッシュツアー 委員会	5	6 甲状腺検査と ヨウ素剤のお話し会 (NO-NUKES)	7 消費委員会	8
9	10	11 NO-NUKES 委員会	12	13 魚料理教室 (消費委員会)	14	15
16	17 総代会	18	19 シャボン玉フォーラム 実行委員会	20	21	22
23	24 連合総会	25	26	27	28 理事会	29
30						

6月17日(月) 総代会 ピアザ淡海

生活クラブへの質問や、お悩みを募集しています！

切り取って、配送担当にお渡しください

さざなみ ぎもん・お悩みズバツと解決コーナー・Q&A 質問用紙

待ってるよ〜♡／



お名前 ()

さざなみにお名前を掲載してよろしいですか？ (はい ・ いいえ)